45th Congress of Japanese Society of Renal Cancer and 1st East Asia Kidney Cancer Symposium スケジュール

会場：品川インターシティホール
日時：平成26年7月20日（日） 8:30-17:10

8:30-8:35 開会挨拶

8:35-9:05 教育セミナー「腎癌の病理診断」

9:05-9:45 Oral Session1「診断」
座長：長嶋 洋治（東京女子医科大学 病理診断科） ※一般演題：O-1～5

9:45-10:25 Oral Session2「手術」
座長：斎藤 誠一（琉球大学 泌尿器科） ※一般演題：O-6～10

10:25-11:05 Oral Session3「転移性腎癌」
座長：徳田 倫章（佐賀県立病院好生館 泌尿器科） ※一般演題：O-11～15

11:05-11:45 Oral Session4「薬物療法」
座長：近藤 恒徳（東京女子医科大学 泌尿器科） ※一般演題：O-16～20

11:45-12:30 総会 / 休憩

12:30-14:50 International Session
International Session1・2 座長：Dr. Seiji Naito（Kyushu University）
Dr. Nicholas Vogelzang（Comprehensive Cancer Centers of Nevada）
International Session3 座長：Naoya Masumori（Sapporo Medical University）
Jinsoo Chung（National Cancer Center）
Hideyasu Matsuyama（Yamaguchi University）
Cheol Kwak（Seoul National University）
Yoshihiko Tomita（Yamagata University）
Seong Il Seo（Sungkyunkwan University）

14:50-15:50 Poster Session / 休憩
Poster Session1「手術」座長：久米 春喜（東京大学 泌尿器科） ※一般演題：P-1～6
Poster Session2「薬物療法」座長：小原 航（岩手医科大学 泌尿器科） ※一般演題：P-7～12
Poster Session3「症例1」座長：神波 大己（京都大学 泌尿器科） ※一般演題：P-13～18
Poster Session4「症例2」座長：三上 修治（慶應義塾大学 病理診断部） ※一般演題：P-19～24
Poster Session5「薬物療法（AML他）」座長：齋藤 一隆（東京医科歯科大学 泌尿器科） ※一般演題：P-25～29
※画像、病理等の若手教育の為、教育講演としてのポスターも入れる

15:50-16:50 Symposium「小径腎腫瘍に対する生検」
座長：岸田 健（神奈川県立がんセンター 泌尿器科）
納谷 幸男（帝京大学ちば総合医療センター 泌尿器科）

16:50-16:55 閉会挨拶

45th Congress of Japanese Society of Renal Cancer and 1st East Asia Kidney Cancer Symposium プログラム

教育セミナー「腎癌の病理診断」 8:35-9:05

Oral Session1「診断」 9:05-9:45

座長：長嶋 洋治（東京女子医科大学 病理診断科）

O-1 腎細胞癌周囲脂肪浸潤における画像および病理診断乖離症例に関する検討 山崎 俊成（京都大学 泌尿器科）
O-2 R.E.N.A.L. nephrometry scoreの再発予測因子としての可能性 永原 啓（大阪大学 泌尿器科）
O-3 淡明腎細胞癌症例の予後予測スコアリングモデル (TNM-C score)の地域基幹病院における外部検証 中山 貴之（東京医科歯科大学 泌尿器科）
O-4 術前血清CRP値は透析患者における初発腎癌の有用な術後予後予測因子である 大前 憲史（東京女子医科大学 泌尿器科）
O-5 Birt-Hogg-Dubé (BHD) 症候群を背景に発症する腎癌例の疫学・臨床・病理学的検討 古屋 充子（横浜市立大学 医学研究科・分子病理）

Oral Session2「手術」 9:45-10:25

座長：斎藤 誠一（琉球大学 泌尿器科）

O-6 3Dプリンターにより作成した腎―動脈―腫瘍モデルによる腎部分切除シミュレーション 駒井 好信（国立がん研究センター東病院 泌尿器科）
O-7 維持血液透析患者と腎移植患者に発症した腎癌に関する比較検討 兩坂 誠（東京女子医大 泌尿器科）
O-8 ロボット支援腎部分切除術を施行した39例の初期成績 三宅 秀明（神戸大学 泌尿器科）
O-9 腹腔鏡下および開腹腎部分切除術後の腎機能低下に関する因子−腎レノグラムを用いた評価− 武内 在雄（九州大学 泌尿器科）
O-10 根治的腎摘除術後の軽症および重症腎機能低下についての、術前後を通した包括的検討 瀬島 健裕（鳥取大学 泌尿器科）

Oral Session3「転移性腎癌」 10:25-11:05

座長：徳田 倫章（佐賀県立病院好生館 泌尿器科）

O-11 分子標的薬時代も含めた当院における転移性腎癌に対する転移巣切除の有効性 福田 洋典（東京女子医科大学 泌尿器科）
O-12 転移性腎癌に対する転移巣切除の検討 大城 吉則（琉球大学 泌尿器科）
O-13 進行性腎細胞癌に対するチロシンキナーゼ阻害薬治療におけるC反応性蛋白の意義 藤田 哲夫（北里大学 泌尿器科）
O-14 分子標的薬を投与された転移性腎細胞癌の治療効果予測におけるCRPの意義 亨島 淳（広島大学 泌尿器科）
O-15 免疫・分子標的療法はMSKCC中リスクを有する日本人腎細胞がん患者に有用である～多施設共同研究報告～ 島袋 智之（宇部興産中央病院 泌尿器科）

Oral Session4「薬物療法」 11:05-11:45

座長：近藤 恒徳（東京女子医科大学 泌尿器科）

O-16 Temporal Cessation of Sunitinib Treatment in Patients with Metastatic Renal Cell Carcinoma: a retrospective study 三浦 裕司（虎の門病院 臨床腫瘍科）
O-17 分子標的薬と導入前脂質との関連性についての検討 中島 晶子（順天堂大学医学部附属静岡病院 泌尿器科）
O-18 腎癌におけるIL-6によるTKI薬剤耐性機構 石橋 啓（福島県立医科大学 泌尿器科）
O-19 マウス腎癌モデルにおける抗CTLA-4抗体と抗PD-1抗体の併用療法による抗腫瘍効果についての検討 元島 崇信（熊本大学 泌尿器科）
O-20 アキシチニブ血中濃度と遺伝子多型、治療効果、有害事象との関連 佐々 直人（名古屋大学 泌尿器科）

International Session 12:30-14:50

座長：Dr. Seiji Naito（Kyushu University）, Dr. Nicholas Vogelzang（Comprehensive Cancer Centers of Nevada）

I-1 Biomarkers in Renal Cell Cancer Primo N. Lara, Jr., MD（Professor of Medicine, University of California Davis School of Medicine, University of California Davis Comprehensive Cancer Center）
I-2 Presurgical Therapy in RCC Eric Jonasch, MD（Associate Professor, Department of Genitourinary Medical Oncology, Division of Cancer Medicine, The University of Texas MD Anderson Cancer Center）

座長：Naoya Masumori（Sapporo Medical University）, Jinsoo Chung（National Cancer Center）

E-1 Renal cancer epidemiology and database consortium in Taiwan Yeong-Shiau Pu, MD, PhD, EMBA（Chairman and Professor, Department of Urology, National Taiwan University Hospital）
E-2 Diagnosis, Epidemiology and Healthcare systems for RCC in Japan Wataru Obara（Department of Urology, Iwate Medical University）

座長：Hideyasu Matsuyama（Yamaguchi University）, Cheol Kwak（Seoul National University）

E-3 Surgical Aspects in Metastatic Renal Cell Carcinoma Cheryn Song, MD, Ph.D, MPH（Associate Professor, Department of Urology, University of Ulsan, College of Medicine, Asan Medical Center, Seoul, Korea）
E-4 Current and Future Perspectives of surgical treatment for kidney cancer in Japan Katsunori Tatsugami MD（Dept. of Urology, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University, Fukuoka, Japan）

座長: Yoshihiko Tomita (Yamagata University), Seong Il Seo (Sungkyunkwan University)

E-5 Systemic therapy in metastatic renal cell carcinoma
Sung-Hoo Hong (Department of urology, College of Medicine, The Catholic University of Korea, Seoul, Korea)

E-6 The history and recent advances of systemic therapy for metastatic renal cell carcinoma in Japan
Takehiro Sejima and Atsushi Takenaka (Division of Urology, Department of Surgery, Tottori University Faculty of Medicine)

Poster Session1「手術」 14:50-15:32

座長: 久米 春喜 (東京大学 泌尿器科)

P-1 広島市立安佐市民病院におけるV-Loc糸の無結紮連続縫合を用いた腹腔鏡下腎部分切除術 三田 耕司 (広島市立安佐市民病院 泌尿器科)
P-2 腹腔鏡下腎部分切除におけるR.E.N.A.L nephrometry scoring systemの有用性の検討 杉浦 正洋 (帝京大学ちば総合医療センター 泌尿器科)
P-3 腎細胞癌におけるSOCS3発現と予後との関連 片岡 政雄 (福島県立医科大学 泌尿器科)
P-4 腎部分切除術後の仮性動脈瘤の自然経過 —自然消失を期待できる仮性動脈瘤のサイズは?— 八木澤 隆史 (東京女子医科大学 泌尿器科)
P-5 慶應義塾大学病院における分子標的薬を用いた進行性腎細胞癌に対するプレサージカル療法について 大門 達明 (慶應義塾大学 泌尿器科)
P-6 下大静脈腫瘍塞栓を伴う腎細胞癌に対しアキシチニブを用いた術前治療を行った4例 向井 尚一郎 (宮崎大学 泌尿器科)

Poster Session2「薬物療法」 14:50-15:32

座長: 小原 航 (岩手医科大学 泌尿器科)

P-7 転移性腎癌に対するスニチニブ療法の治療経験 吉田 哲也 (滋賀医科大学 泌尿器科)
P-8 転移性腎細胞癌に対する分子標的薬治療の効果予測因子の検討 井上 剛志 (奈良県立医科大学 泌尿器科)
P-9 分子標的薬で治療を行った転移性腎細胞がんにおける予後予測因子についての検討 寺井 一隆 (順天堂大学 泌尿器科)
P-10 転移性腎癌に対する1st line治療としてSunitinibの効果 五十嵐 大樹 (岩手医科大学 泌尿器科)
P-11 転移性腎細胞癌に対するチロシンキナーゼ阻害薬による一次治療と二次治療の臨床効果 宮崎 彰 (神戸大学 泌尿器科)
P-12 千葉県がんセンターにおけるアキシチニブの治療成績 深沢 賢 (千葉県がんセンター 泌尿器科)

Poster Session3「症例1」 14:50-15:32

座長: 神波 大己 (京都大学 泌尿器科)

P-13 異時性転移に対して分子標的療法を行った腎細胞癌の剖検例 山口 健哉 (日本大学 泌尿器科)
P-14 Axitinib投与後に発症した間質性肺炎の1例 佐倉 雄馬 (香川大学 泌尿器科)
P-15 リンパ節転移を有する進行性腎細胞癌に対しテムシロリムスにより完全奏効が得られた1例 西山 直隆 (札幌医科大学 泌尿器科)
P-16 Clear cell RCCとしては特異な遺伝子発現プロファイルを呈したエベロリムス奏功進行性腎癌 柳田 知彦 (福島県立医科大学 泌尿器科)
P-17 Birt-Hogg-Dube症候群 (BHDS) 患者に発生した腎癌の1例 松嶋 惇 (千葉大学 診断病理学)
P-18 当院で経験したBirt-Hogg-Dubé症候群の一家系 大豆本 圭 (徳島大学 泌尿器科)

Poster Session4「症例2」 14:50-15:32

座長: 三上 修治 (慶應義塾大学 病理診断部)

P-19 切除不能な腎細胞癌に対し分子標的療法からインターフェロン療法に変更しStable Diseaseの維持が可能であった一例
川口 真琴 (獨協医科大学越谷病院 泌尿器科)

P-20 The International Society of Urological Pathology consensus conferenceにて新たに提唱されたclear cell (tubulo) papillary renal cell carcinomaの1例
西川 源也 (愛知医科大学 泌尿器科)

P-21 集合管癌の多発転移に対しGC療法およびゾレドロン酸が有効であった1例 川口 真 (防衛医大病院 泌尿器科)
P-22 当院で経験した clear cell papillary renal cell carcinoma(CCP-RCC)の2例 黒田 直人 (高知赤十字病院 病理診断科部)
P-23 Xp11.2転座型腎細胞癌の3例 手島 太郎 (東京大学 泌尿器科)
P-24 当院における乳頭状腎細胞癌の臨床的検討 仲西 昌太郎 (琉球大学 泌尿器科)

Poster Session5「薬物療法 (AML他)」 14:50-15:25

座長: 齋藤 一隆 (東京医科歯科大学 泌尿器科)

P-25 進行腎癌に対し、スニチニブ術前投与により根治手術が可能となった2症例の経験 徳田 倫章 (佐賀県医療センター好生館 泌尿器科)
P-26 血液透析中の転移性腎癌症例に対し分子標的薬を使用した5例の検討 杉山 貴之 (浜松医科大学 泌尿器科)
P-27 初回TKIs治療抵抗性転移性腎細胞癌に対するsecond-line therapyの検討 前田 喜寛 (熊本大学 泌尿器科)
P-28 TSC-AMLに対するエベロリムスの効果 腫瘍成分別検討 波多野 孝史 (JR東京総合病院 泌尿器科)
P-29 当院における結節性硬化症に伴う腎血管筋脂肪腫に対するエベロリムスの使用経験 辻村 一馬 (東京女子医科大学 泌尿器科)

Symposium「小径腎腫瘍に対する生検」 15:50-16:50

座長：岸田 健（神奈川県立がんセンター 泌尿器科）、納谷 幸男（帝京大学ちば総合医療センター 泌尿器科）

S-1　Overview：小径腎腫瘍に対する腫瘍生検の現状　近藤 恒徳（東京女子医科大学泌尿器科）
S-2　生検方法　森田 賢（東京女子医科大学 画像診断・核医学科）
S-3　生検の実情1：当院における腎腫瘍生検の検討　本郷 文弥（京都府立医科大学大学院医学研究科・泌尿器外科学）
S-4　生検の実情2　水野 隆一（慶應義塾大学医学部泌尿器科学教室）
S-5　症例提示　藤井 靖久（東京医科歯科大学 腎泌尿器外科）

※International Session, Symposium 共催
グラクソ・スミスクライン株式会社、ノバルティス ファーマ株式会社、ファイザー株式会社、バイエル薬品株式会社